

前回（令和4年度業務）評価への対応について

1 前回評価の結果について

令和4年度の指定管理運営業務については、県が求める水準や事業計画に沿って実行されており、特に、①快適な利用環境の創出については、コロナ禍におけるオンライン環境整備による利便性向上の取組などにおいて「計画を上回る優れた管理運営が行われている」との評価であり、他の項目についても「概ね計画どおりの管理運営がなされている」という評価であった。

評価項目	評価結果		
	令和2年度 業務	令和3年度 業務	令和4年度 業務
① 快適な利用環境の創出	4	4	5
② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営	4	4	4
③ 入居施設間の有機的な連携	4	4	4
④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）	4	4	4
⑤ 適切な施設運営	4	4	4

※ 詳細については、参考資料「いわて県民情報交流センター（アイーナ）の指定管理業務に関する評価結果報告書（令和4年度業務）」を参照願います。

2 評価への対応について

評価結果を県及び指定管理者において真摯に受け止め、業務の改善に向けて取り組んでいること。また、主な取組内容については以下のとおり。

前回（令和4年度業務）の第三者評価への対応状況について

評価項目	評価結果	コメント	対応（取組）状況
① 快適な利用環境の創出	5	<p>【評価コメント】 計画を上回る優れた管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>○ オンライン環境整備による利便性向上の取組 コロナ禍において、オンライン会議の開催が可能な環境等を整備することにより、利用しやすい環境に向けて努力している点を評価する。</p> <p>○ 職員の研修 長期的視野で、サービス向上を図るための職員研修の受講を積極的に進めた点、加えて職員の防災士資格の取得により、さらなる防災機能強化への取組を強化した点など、快適で安全な環境を築くよう、改善に努めている点を評価する。</p> <p>○ 地域活動 学校や商店街など地域と連携した取組を積極的に行うとともに、遠隔地も含め、新たな取組を展開している点を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <p>○ 企画の継続及び発展 地域にアイーナが出張してイベントを行うアウトリーチ企画の実施など、施設の交流手法を県内施設へ展開したことから、その取組が定着するよう、また、アイーナの交流・発信拠点としての機能発揮につながることを期待する。</p> <p>○ 会議の新たな手法に対応した環境整備の継続</p>	<p>○前年に引き続きアウトリーチ企画「わくわくキッズランドinおおふなど」を盛岡医療福祉スポーツ専門学校と大船渡市防災観光交流センター（おおふなぼーと）で共催。現地協力：大船渡市社会福祉協議会。保育の仕事を目指している大船渡市の高校生3名も参加。今後も連携・交流を通じて様々な付加価値を発揮していけるような事業の推進を行っていく。</p> <p>○施設利用における利用者のオンライン利用特性を調査・検討、小田島組☆ほ～るや大規模会議室での映像投影時にHDMIケーブルでの伝送ロスを解消する機能改善を行い滞りなく催事を開催できる環境を提供した。</p> <p>○ホームページの施設紹介ページにピクトグラム等による一目でわかる施設の機能紹介を追加予定。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  オンライン </div> <div style="text-align: center;">  オーバル形式 </div> <div style="text-align: center;">  ダンス </div> </div> <p>○施設利用者向けWi-Fiについては毎朝パスワードの更新を行う運用を行っ</p>

評価項目	評価結果	コメント	対応（取組）状況
		<p>ハイブリッド型の会議等への対応による環境整備とセキュリティ対策の強化を期待する。また、予約時に利用予定者が状況に合った使い方をイメージできるよう、設備の規格表示など、掲載する情報を拡充することを期待する。</p> <p>○ セキュリティの強化</p> <p>Web環境の向上に伴い、セキュリティ対策について、重点的に取り組むことを期待する。</p>	<p>ている。</p> <p>○施設予約システムやWi-Fi等の利用状況及び利用者の意識、トレンド・社会情勢に注意を払いシステム更新に反映できるよう県との情報共有を図っていく。</p> <p>○ITセキュリティに関する研修は定期的に反復受講し個人情報保護の意識を常に持ち続ける環境を醸成していく。</p>
<p>② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営</p>	<p>4</p>	<p>【評価コメント】</p> <p>概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】</p> <p>ワークショップの開催、ウイズコロナ、アフターコロナを意識した事業の企画やアイーナニュース電子版の運用や、CAPIC 製品の取扱いを開始する等の工夫がなされている点を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <p>○ 以前の賑わいが戻る中で、利用者の声を聴きながら、参集型イベントへ安心して参加できる施設運営が行われることを期待する。</p> <p>○ アイーナの広い空間性を生かして、利用者の声などを掲載したボード展示、県民参加型のイベント企画の場としての活用など、利用価値の向上を目的にした賑わいの創出や、学習環境の利用方法について、曜日や時間帯、使用方法と使用場所の環境整備などを検討することを期待する。</p>	<p>○感染拡大防止対策を講じて開催した参加型・展示型の催事についてはアフターコロナ時代のイベントスタイルとして標準化を行い第六期指定期間の催事開催におけるロールモデルとしていきたい。併せて新型コロナウイルスも含めた感染症対策として、換気や消毒液の設置等を継続して行うとともに、感染予防について来館者への啓蒙や利用者への依頼・指導等ソフト面での対策も行いながら、安心して利用いただける環境を維持していく。</p> <p>○「賑わい創出」「アイーナの価値創造」「いわての幸せな未来」といった3つの大きなテーマを設定し、連携・協働の中から「寄りそい・つながり・持続する」ことを実感できる催事を企画。実施に</p>

評価項目	評価結果	コメント	対応（取組）状況
			<p>際してはアイーナを拠点としたもの、オンライン空間を舞台としたもの、アイーナを飛び出しアウトリーチで開催するものなど時代や参加者のニーズに沿った開催方法を常に模索・検討しながら行っていく。</p>
<p>③ 入居施設間の有機的な連携</p>	<p>4</p>	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】 ○入居施設間と連携した具体的な取組の実施 「アイーナライトアップ」、「いろいろアイーナ」など、多くの人に広くアイーナの存在を認知させる取組となっている点や、入居施設と連携し、アイーナを盛り上げた意欲的な機運を評価する。</p> <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】 ○ アイーナの催事等が掲載された一覧性のある表示の導入や、入居施設の活動についての紹介を行うパネルの導入などにより、入居施設の情報発信の取組の検討を行うことを期待する。 ○ アイーナ指定管理者がリーダーとなって入居施設において連携する取組をリードすることを期待する。 ○ 新たな試みとして、県内施設とのコラボレーションにより県内施設のイベントをアイーナで実施し、誘客につなげる取組の検討することを期待する。</p>	<p>○現在提供されているデジタルサイネージで行っている入居施設の催事案内を継続して実施している。併せて入居施設、岩手県専用の案内ボードの管理、掲出等の運用を行っている。紙媒体である a i i n a NEWS との W E B ミックスによる連携も行いながら効果的な情報発信を継続して行っていく。</p> <p>○W i n - W i n な関係を構築・持続させていく事を目標とし協力・協働して連携を行っていく。併せてお互いの持つ機能を有効に活用し効率的で効果的な連携・協働を推進する。</p> <p>○連携と協働に軸足を置き、関わる全ての団体や人々が持つミッションや目的が達成されることを志向したイベントを検討、実施していく。催事の呼び込みも含めてコラボレーションの推進を図っていく。</p>

評価項目	評価結果	コメント	対応（取組）状況
④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）	4	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ、ラジオ、HP、SNS、紙等多様な媒体を活用し、情報発信を行っている点を評価する。 ○ アイーナニュースの電子版の立ち上げやQRコードの活用によるWebへの誘導による新たな県民への情報発信の努力を評価する。 <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な情報発信の手法やリアクションを得られる情報発信の方法について検討し、強化を図ることを期待する。 ○ 情報発信の媒体ごとの効果検証や、アイーナニュースの電子媒体の導入に伴う紙媒体の活用方法や発行部数の検討による、一層の効果的な情報発信の実施を期待する。 	<p>○ SNSにおいてはインサイト指標だけにとらわれることなく、利用者やモニターの意見等も参考にしながら公共施設に相応しいプラットフォームの選定、運用を行っていく。</p> <p>○ アイーナを舞台に開催される多彩な行催事の情報をメディアミックスやマスメディア・入居施設との広報連携を効果的に行いながら発信・拡散。SNSによる「繋がり」～「拡散」を意識した発信を実践しながらレガシーな情報発信手段も活用し情報格差を発生させない情報提供を行っていく。</p>
⑤ 適切な施設運営	4	<p>【評価コメント】 概ね計画どおりの管理運営が行われている。</p> <p>【評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギー使用量の節減実績 平成26（2014）年度比15.8%削減（目標6%削減）の実績を評価する。 ○ 施設の管理、運営、訓練等の計画的実行 大きな事件事故がなく適切な管理がなされている点や、従前からの訓練等に加え、独自の止水板装置訓練を導入した点について評価する。 <p>【更に優れた管理運営に向けた助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 経年による内部仕上げの劣化等への対応について、県とも相談のうえ、修繕等を進めていくことが望ま 	<p>○ 令和5年度に5階ギャラリーアイーナ展示パネル修繕を実施する予定としている（県発注工事） 会議室等の修繕については、県と相談し、検討している。</p> <p>○ 防災士や防火管理者、サービスケアアテンダントの知識や3・11で得た知見を活かし、帰宅困難者避難場所としての役割のみではなく、県民参加型避難訓練や総合防災訓練等の実施を通じて防災拠点としての情報発信や経験、ノウハウの伝承を行っていききたい。</p>

評価項目	評価結果	コメント	対応（取組）状況
		<p>い。</p> <p>○ 東日本大震災津波時の緊急対応は経験・教訓として貴重であることから、その継承がなされるよう期待する。</p>	